

住宅市場データ  
ショート  
レポート



2012年6月21日版

このレポートは、住宅市場の把握に欠かせない各種データや経済指標により親しみを感じていただくためのものです。気軽にお読みいただければ幸いです。

注文住宅購入者及び購入希望者の生活感に明るさが！！

～愛知県の生活感調査より～

住宅市場研究室 小間幸一

[kouichi-koma@toshinjuken.co.jp](mailto:kouichi-koma@toshinjuken.co.jp)

愛知県で注文住宅を購入又は購入を希望している消費者の生活感、つまり生活の感じ方はやや好転しているようだ。

東新住建（株）住宅市場研究室では年3回のペースで注文住宅購入者及び購入希望者（愛知県在住者）に今の生活をどう感じているのかを尋ねている。表1は回答に基づき、生活に対する感じ方を「余裕がある」「普通」「苦しい」の3つにざっくりと分けてその推移を示してある。

直近の2011年10月から2012年2月の変化を見てみよう。すると「普通」が50.43%から53.44%へと上昇している。3.01ポイントのプラスだ。「余裕がある」も14.78%から18.62%へと上昇した。3.84ポイントのプラスとなっている。反対に「苦しい」は34.78%から27.94%と下降した。6.84ポイントもマイナスとなっている。

これらをまとめると、生活を「普通」とか「余裕がある」と感じる人が増加し、「苦しい」と感じる人が減少していることになる。注文住宅を購入したり、購入を希望する消費者の気持ちがややほぐれつつあるようだ。

では、字際に愛知県の今年の注文住宅着工戸数はどうなっているのだろうか。表2は愛知県の住宅種類別の着工戸数の変化を毎月示したものである。これを見ると、注文住宅の着工戸数は1,555戸（1月）1,631戸（2月）、1,524戸（3月）、1,606戸（4月）と横ばい傾向が続く。今一步盛り上がりに欠けるように見える。そのような業界にとって「お客様の気持ちがややリラックスし始めているようだ」という今回の調査結果は歓迎すべき内容といえる。今後の盛り上がりを期待したい。

（尚、生活感に関する次回調査は6月後半を予定。）

以上

※ 本ページの内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承願います。

表1 / 注文住宅購入者及び購入希望者(愛知県在住者)の生活感の変化

・調査対象者：愛知県在住の注文住宅を3年以内に建てた、または3年以内に建てたい人  
 サンプル数および調査実施日：2010年6月 n=110、2010年10月 n=115、2011年2月 n=108、  
 2011年6月 n=113、2011年10月 n=115、2012年2月 n=247  
 調査会社：gooリサーチ <http://research.goo.ne.jp/>

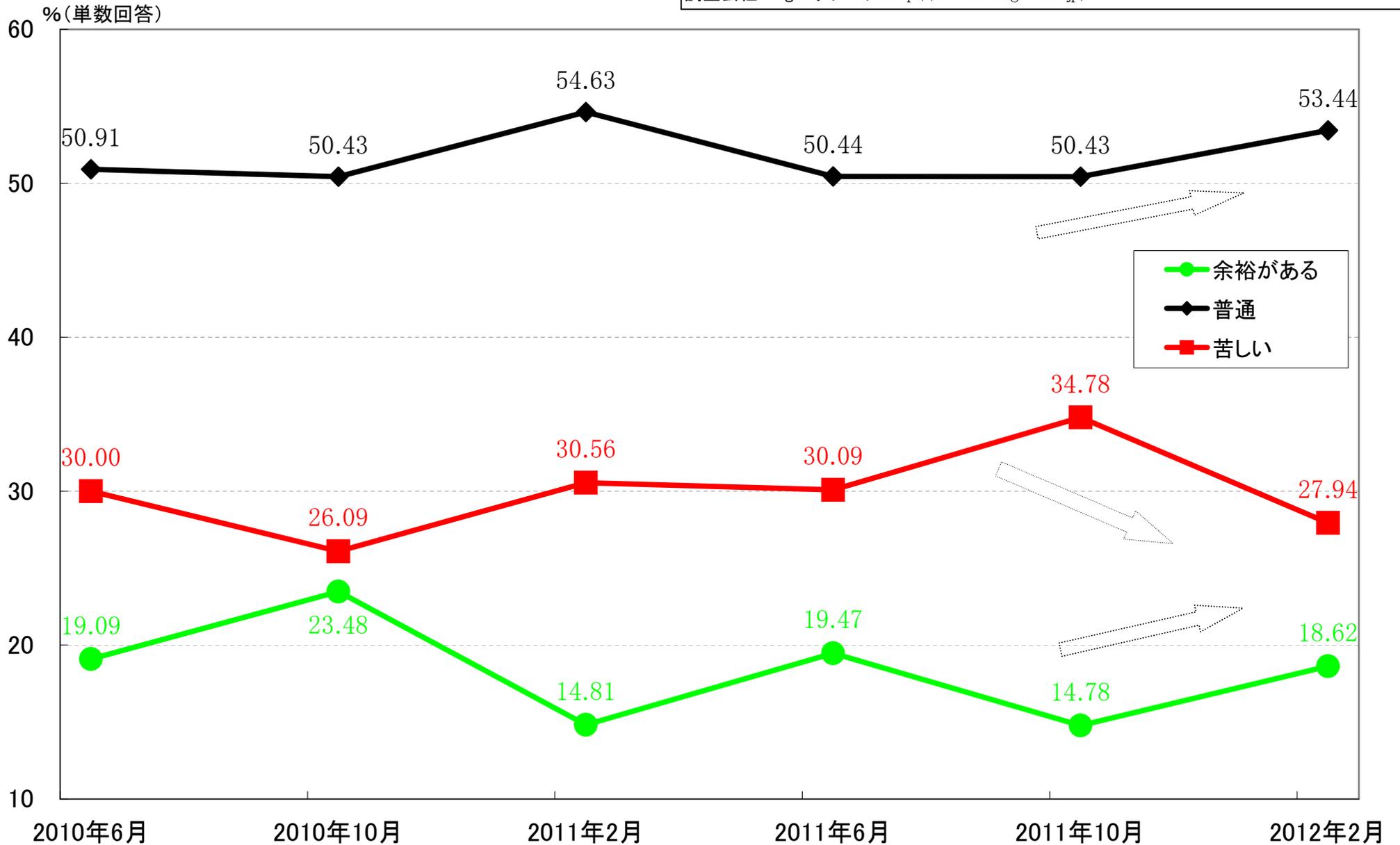
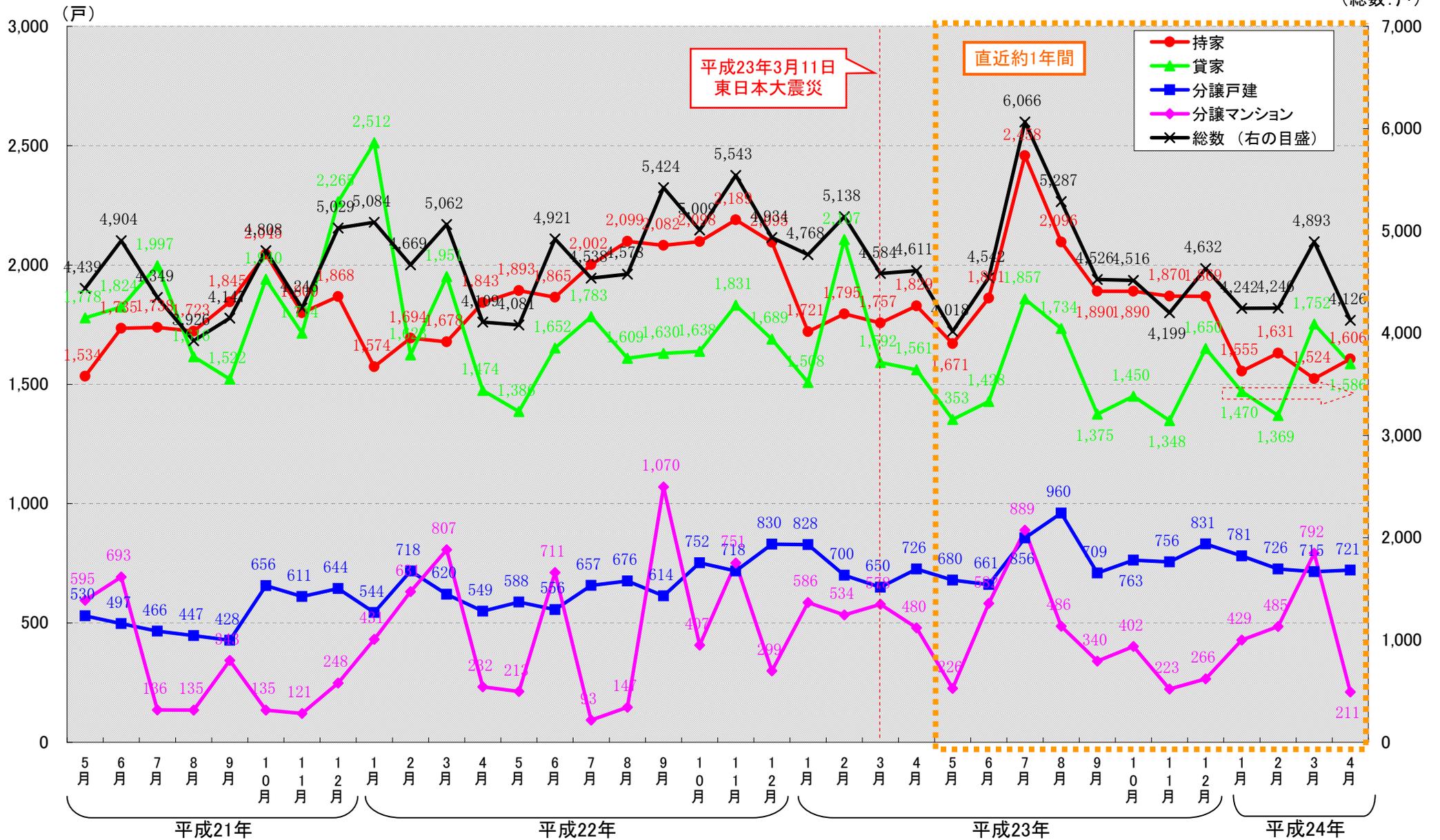


表2 / 愛知県 利用関係別・新設住宅着工戸数推移



※国土交通省 建築着工統計調査 [http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku\\_list.html](http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html) より住宅市場研究室にて作成  
 ※「給与住宅」および「分譲戸建・マンション以外の分譲住宅」を割愛の為、総数と合計は一致しない。